

令和5年度(2023年度)

教育委員会の事務の点検および評価報告書

(令和4年度(2022年度)対象)

令和5年(2023年)9月

九十九里町教育委員会

## はじめに

### 1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成 19 年 6 月 27 日公布）に伴い、教育委員会は、平成 20 年 4 月 1 日から毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務づけられました。

教育委員会では、法改正の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、毎年度、施策および事務事業に関する点検・評価を実施し、報告書を作成しています。

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象

点検・評価は、令和 4 年度（2022 年度）に実施した教育委員会の施策、事務事業全般を対象とし、また、教育委員会会議の開催状況や教育委員の活動状況など、教育委員会の活動そのものについても実施しました。

なお、評価の対象とする項目については、「第 5 次九十九里町総合計画」に掲げる施策を基本とし、その施策に関する事務事業を選定しました。

### 3 点検・評価の方法

#### 点検・評価の視点

教育委員会の活動状況については、教育委員会会議の開催や教育委員の活動などの実績を検証し、今後の取組の方向を示しています。

また、各事業の個別評価では、次の4段階で評価をします。

評 価	
A	目標を達成できた、または目標達成に向けて順調に進んでいる
	(評価基準) <ul style="list-style-type: none"><li>・ 目標を達成した</li><li>・ 効果的で適切な取組みを行っている</li><li>・ 目標達成に向けて成果をあげている</li></ul>
B	概ね目標を達成できた、または目標達成に向けて進んでいる
	(評価基準) <ul style="list-style-type: none"><li>・ 概ね目標を達成した</li><li>・ 効果的な取組みを行っている</li><li>・ 目標達成に向けて一定の成果をあげている</li></ul>
C	取組みを行っている、または目標達成に向けて多少の成果をあげている
	(評価基準) <ul style="list-style-type: none"><li>・ 取組みを行っている</li><li>・ 目標達成に向けて多少の成果をあげている</li></ul>
D	目標の達成ができなかった、または目標の達成は困難である
	(評価基準) <ul style="list-style-type: none"><li>・ 取組みが行われていない</li><li>・ 目標達成に向けた成果はあがっていない</li></ul>

### 4 点検・評価結果の公表

本報告書は、町民への説明責任を果たすため、議会へ提出するとともに、教育委員会のホームページに掲載し公表します。

## 教育委員会の活動状況に関する点検・評価

### 1 教育委員の選任状況

教育長および教育委員は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育、文化などに関して識見を有する者を、町長が議会の同意を得て任命しています。

本町教育委員会は、次のとおり構成しています。

役職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	藤代 賢司	令和元年10月1日	令和4年10月1日～ 令和7年9月30日
教育長職務代理者	関 留理子	令和2年10月1日	令和2年10月1日～ 令和6年9月30日
委員	川崎 修	平成25年10月1日	令和3年10月1日～ 令和7年9月30日
委員	石田 米子	令和元年12月22日	令和元年12月22日～ 令和5年12月21日
委員	阿部倉 毅	令和4年10月1日	令和4年10月1日～ 令和6年9月30日
委員	並木 千明	平成28年10月1日	平成30年10月1日～ 令和4年9月30日

## 2 教育委員活動状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

日付	会議名等	会議場所等
4	5 町転入教職員合同着任式	町立中央公民館
	5 第1回定例教育委員会議	町立中央公民館
	11 町内小学校入学式（午前）	各小学校
	11 九十九里中学校入学式（午後）	九十九里中学校
	19 山武地区教育委員会連絡協議会 表彰者選考委員会	山武市役所
	19 山武地区教育委員会連絡協議会 理事会	山武市役所
5	2 第2回定例教育委員会議	町立中央公民館
	16 山武地区教育委員会連絡協議会総会	山武市役所
	25 千葉県市町村教育委員会連絡協議会 定期総会・特別講演	サンプラザ市原
	27 関東甲信越静市町村教育委員会 連合会 総会・研修会	書面開催 研修会：資料配布
6	1 第3回定例教育委員会議	町立中央公民館
	2 第1回教科用図書山武採択地区 協議会	町立中央公民館
	16 町教育研究会合同研修会(プログラ ミング授業)	九十九里中学校
7	1 第4回定例教育委員会議	町立中央公民館
	11 第2回教科用図書山武採択地区 協議会	町立中央公民館
8	1 第5回定例教育委員会議	町立中央公民館
9	1 第6回定例教育委員会議	町立中央公民館
	13 県内教育長・教育委員研修会	県総合教育センター
	22 山武地区教育委員会連絡協議会 表彰者選考委員会	大網白里市役所
	22 山武地区教育委員会連絡協議会 理事会	大網白里市役所
	25 片貝小学校運動会	片貝小学校
	25 九十九里小学校運動会	九十九里小学校

10	3	教育委員学校訪問 給食試食会	九十九里小学校
	3	第7回定例教育委員会議	町立中央公民館
	18	第1回臨時教育委員会議	町立中央公民館
	27	九十九里中学校合唱コンクール	東金文化会館
11	1	第8回定例教育委員会議	町立中央公民館
	1	山武地区教育委員会連絡協議会 表彰式	大網白里市保健文化センター
	1	山武地区教育委員会連絡協議会 合同研修会	大網白里市健康文化センター
	2	第34回若い芽のジョイントコンサート	九十九里中学校
	12	九十九里小学校50周年記念式典	九十九里小学校
	17	学校訪問	片貝小学校 豊海小学校
	28	町教育研究会合同研修会（食育公開授業）	片貝小学校
12	1	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 教育長・教育委員研修会	（Web会議）
	1	第9回定例教育委員会議	町立中央公民館
	2	生涯学習推進大会	九十九里中学校
1	8	成人式～はたちのつどい～	サンライズ九十九里
	12	第10回定例教育委員会議	町立中央公民館
	27	第2回令和4年度教育長・教育委員 研修会	スターツおおたかの森ホール
2	1	第11回定例教育委員会議	町立中央公民館
	21	総合教育会議	役場第一会議室
	26	東金・九十九里波乗りハーフマラソン	片貝中央海岸
3	1	第12回定例教育委員会議	町立中央公民館
	9	九十九里中学校卒業式	九十九里中学校
	17	町内小学校卒業式	各小学校

### 3 教育委員会会議

#### (1) 会議の開催（令和4年4月～令和5年3月）

	定例会	臨時会	計
回数	12回	1回	13回

#### (2) 審議内容

開催日	議案名	
4月定例会 (4月5日)	第1号	九十九里町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について
	第2号	令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	第3号	令和4年度九十九里町進学奨励費の認定について
	第4号	九十九里町教育大綱について
	第5号	令和4年度学校教育の方針について
	第6号	令和4年度社会教育の方針について
5月定例会 (5月6日)	第1号	令和4年度教科書用図書山武採択地区協議会規約及び協議会委員の承認について
	第2号	準要保護児童生徒の認定について
6月定例会 (6月1日)	第1号	九十九里町教育要覧について
7月定例会 (7月1日)	第1号	準要保護児童生徒承認について
8月定例会 (8月1日)	第1号	令和5年度使用教科用図書の採択について
9月定例会 (9月1日)	第1号	準要保護児童生徒の認定について
10月定例会 (10月3日)	第1号	準要保護児童生徒の認定について
臨時会 (10月18日)	第1号	九十九里町学校規模適正化基本方針（案）について
	第2号	九十九里町学校施設長寿命化計画（案）について
	第3号	行政手続きにおける申請書等の性別記載欄の見直しに伴う関係要綱の整備に関する告示の制定について
	第4号	いわし博物館設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
	第5号	九十九里町学校給食センター管理規則の一部を改正する規則の制定について

	第6号	九十九里町第三子以降学校給食費減免実施要項の制定について
11月定例会 (11月1日)	第1号	九十九里町学校規模適正化基本方針について
	第2号	九十九里町学校施設長寿命化計画について
	第3号	準養護児童生徒の認定について
12月定例会 (12月1日)	第1号	準要保護の認定について
	第2号	行政手続における申請書等の性別記載欄の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について
1月定例会 (1月12日)	第1号	準要保護児童生徒の認定について
2月定例会 (2月1日)	第1号	九十九里町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について
	第2号	九十九里町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	第3号	山武郡市6市町学校事務の共同実施に係る協定書について
3月定例会 (3月1日)	第1号	準要保護申請について
	第2号	九十九里町学校再編推進委員会設置要綱の制定について
	第3号	九十九里町学校運営協議会規則の制定について
	第4号	独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金徴収規則の制定について
	第5号	九十九里町立九十九里いわし博物館管理規則を廃止する規則の制定について
	第6号	九十九里町立九十九里いわし博物館協議会規則を廃止する規則の制定について
	第7号	九十九里町教育委員会処務規定の一部改正について
	第8号	九十九里町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
	第9号	九十九里町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示について
	第10号	九十九里町要保護児童生徒及び準要保護児童生徒就学援助支給要綱の一部を改正する告示について
	第11号	行政手続における申請書等の性別記載欄の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について

## 各事業の評価結果

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	小中学生の基礎・基本の定着	担当係	学校教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>基礎的・基本的な知識及び技能の習得のため、主体的に学習に取り組む態度を養い、学力の定着を図ります。</p> <p>【経過・結果】 「町学校教育指導の指針」を小中校長会議で周知・確認するとともに、その重点項目である「確かな学力」の定着に向け、教務主任会議等で具体的方策について協議し、朝の読書の奨励やドリルタイム（主に国語や算数のドリル学習・小テスト）等を実施することで、基礎学力の向上に努めています。また、「家庭学習の手引き」を配付し、どのように自学をすればよいかの目安を示したり、家庭学習重点週間を設け、家庭学習の習慣化を図ったりする等、各学校の実態に応じて取り組めるように指導しています。</p> <p>児童生徒にとってわかりやすい授業を行うために、タブレット端末やデジタル黒板を活用するよう指導しています。児童生徒の学習への興味・関心を高め、自ら課題を見つけ、解決するわかりやすい授業への改善・充実に努めました。</p> <p>【今後の方向性】 児童生徒の学習理解が深まるよう、指導方法の工夫などにより確かな学力の向上を図ります。また、学力の定着に向け、引き続き家庭学習の習慣化に向けた取り組みを行ってまいります。</p>		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	<p>朝の読書やドリルタイム、家庭学習重点週間の実施に加え、タブレットの活用などにより、児童・生徒が学習に対し興味や関心が高まる取り組みに努めたことは評価できる。学力定着に向け、家庭においても理解を深めてもらう</p>		

	ことも必要と思われる。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	ICT 機器を活用した情報教育の充実	担当係	学校教育係
<p>評価年度 (R4年度) 取組内容</p>	<p>ICT 機器の特性を生かし、視覚、聴覚からの情報を学習に活用するなど、児童生徒にとってわかりやすく、親しみやすい授業を展開します。</p> <p>【経過・結果】 教育委員会が主導し、各校の代表で GIGA スクール実行委員会を立ち上げ、教職員の指導スキルの向上や ICT 機器の活用の課題等について協議しました。また、校内研究のテーマに ICT 機器の効果的な活用を取り上げ、積極的にデジタル黒板や書画カメラを活用し、教科書や資料、児童生徒のノート等を効果的に掲示することで、発表がわかりやすく、説明が理解しやすくなりました。</p> <p>また、授業での児童生徒たちへの PC 操作の支援や教職員研修の講師として ICT 支援員を配置し、ICT 機器の活用スキルの向上を図りました。</p> <p>さらには、コロナウイルス感染拡大防止のため、学級閉鎖になったとき、タブレットを家庭に持ち帰り、オンライン授業を行ったり、課題を出したりし、学びの継続を推進しました。</p> <p>【今後の方向性】 令和 6 年度のデジタル教科書の本格導入を見据えて、ICT 支援員による教職員のスキル向上を図ります。加えて、学習場面に応じた ICT 機器の活用により、情報教育の充実に努めます。</p>		
指標名	教職員 ICT 機器研修会の参加数		
実績値	各校 10 回		
目標値	5 回		
自己評価	B		
評価結果	ICT 機器活用に向け、教職員のスキル向上が図られ、		

	児童・生徒の学力向上に努めてきた成果がうかがえる。引き続き教職員の研修会などを実施することを希望する。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	外国語活動の充実	担当係	学校教育係
<p>評価年度 (R4年度)</p> <p>取組内容</p>	<p>外国語指導助手（ALT）を小中学校へ配置し、授業者と連携して指導を行い、児童生徒の外国語教育の充実を図ります。また、小学校では、英語免許を有する英語専科教諭を配置し、英語学習の基礎を指導します。</p> <p>【経過・結果】</p> <p>小中学校の外国語教育において、児童生徒のコミュニケーション能力の育成、英語力の向上を目指し、ALT を町内の小中学校に配置しています。</p> <p>英語専科教諭とALTが連携して、児童生徒一人一人の学習状況に応じた授業を実施することで、児童生徒が自信をもって外国語を話す機会が増えています。中学校ではALT を活用し、実用英語技能検定や山武郡市英語発表会の指導も行いました。</p> <p>小・中学校の指導内容や指導方法について相互に理解を深めるとともに、指導者の力量を上げるため小・中連携しての協議会を実施しました。</p> <p>デジタル教科書を使用し、映像を観せたり音楽を聴かせたりしながら授業ができ、児童生徒の理解を促すことができました。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>外国語指導助手（ALT）による英語指導は、英語力の向上、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に大切な役割を担っていることから、今後も小中学校への配置を行います。また、小学校への英語専科教諭についても継続して配置し、英語力の確かな定着を目指します。</p>		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		

評価結果	<p>ALTについては、英語の授業のみならず検定や発表会の指導も行ったこと、また、英語の基礎学習を充実するため英語専科教諭を小学校へ配置したことなど、英語力の定着に向けた取り組みを評価する。英語力の向上、コミュニケーション能力の育成に向け、継続してほしい。</p>
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 体験学習の推進

事業名	体験学習を重視した「生きる力」を育む総合的な学習の時間の推進	担当係	学校教育係
<p>評価年度 (R4年度) 取組内容</p>	<p>ボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、また自然体験を通して観察・実験、見学や調査、発表や討論など、総合的な学習活動を推進します。</p> <p>【経過・結果】 「学校教育の方針」の中の「ふるさとを愛する子の育成」に向け、ふるさと体験活動を推進しています。各校の実態に応じ、漁業を生かした「めざし作り体験」や「地引網体験」、海辺を生かした「蜃気楼体験」、田園を生かした「米作り・餅つき体験」等、地域の環境を生かした体験活動を行いました。これらの体験活動を通して、地域の産業に関心を持ち、地元への愛着が深まりました。</p> <p>【今後の方向性】 「生きる力」を育むため、多様な活動による体験学習は児童生徒の個性を伸ばすためにも重要であります。地域の人々や自然、文化に触れ親しむとともに、見聞を広め、公衆道徳や集団生活のあり方などについて引き続き体験を積む学習を行います。</p>		
指標名	体験学習の実施回数		
実績値	28回		
目標値	各学年1回		
自己評価	A		
評価結果	<p>実生活ではなかなか経験できない本町ならではの活動は貴重である。コロナ禍においても、地域に根ざした体験学習が実施できたことを評価する。</p>		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「豊かな心」の育成

事業名	「豊かな心」の育成を目指した道徳教育の推進	担当係	学校教育係
<p>評価年度 (R4年度)</p> <p>取組内容</p>	<p>児童生徒に豊かな人間性や社会性を育むため、道徳教育を行います。</p> <p>【経過・結果】</p> <p>タブレットPCのリモート機能で、各小学校の6年生を繋ぎ、道徳のオンライン授業を実施しました。様々な考え方に触れ、学びを深めることができました。</p> <p>「心の九十九里ルール」を周知し、学校・家庭・地域の連携が深まるように努めました。</p> <p>特に、学校毎に重点項目を設定し、学校評価アンケートに加え、評価するようにしています。</p> <p>また、自然体験やキャリア教育など、様々な校外学習の実践内容を学校と協議しながら進め、人や社会との関わりについて学習しました。</p> <p>そして、ペットボトルキャップを集める「エコキャップ」活動や新聞・雑誌・ダンボール等を回収する「リサイクル」活動を勧め、持続可能な社会について考える機会となりました。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>成長段階に応じた体験や道徳教育、また関係機関と連携した人権教育などを継続し、豊かな情操と道徳心を養う教育を引き続き推進します。</p>		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	<p>オンライン授業の特性を活かした、各小学校を結んでの授業実施は、多くの意見や他者の考えに触れることができ、道徳教育において良かったものとする。持続可能な</p>		

	社会づくりなど、家庭も含め根付くことを期待する。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 特別支援教育の充実

事業名	就学指導と特別支援教育の充実	担当係	学校教育係
<p>評価年度 (R4年度) 取組内容</p>	<p>児童生徒の成長や個性に合わせた適正な支援を推進します。</p> <p>【経過・結果】 東上総教育事務所の特別支援アドバイザーを活用し、児童生徒の自立活動の指導を充実できるよう各校に周知を図ったり、授業のユニバーサルデザイン化を推進したりしました。 小中学校で特別の支援を要する児童生徒の「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、保護者と合意形成を図り、一人一人の特性や多様な教育ニーズに対応した合理的配慮の提供を適切に行うよう指導しました。 また、支援員を配置し、支援体制の整備をしました。 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し必要な援助を行うことにより、それらの保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励費補助金を交付しました。 教育支援委員会や引き継ぎ会を通して、こども園・小学校・中学校の連携を図り就学支援を行いました。</p> <p>【今後の方向性】 保護者、学校、児童生徒の相互理解のもと、児童生徒の状況に合わせた適正な支援を行います。また小学校入学に備え、他部署と連携しこども園への訪問相談の実施や、就学時健康診断についてはその結果を支援体制に活かすなど、充実した組織体制を構築します。</p>		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	<p>児童・生徒の個々のニーズに応じた指導計画を作成し、保護者と合意形成を図りながら指導にあたっていることを評価したい。今後も一人一人の特性に応じた支援を期待</p>		

	する。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 教育相談の充実

事業名	教育相談の充実	担当係	学校教育係
<p>評価年度 (R4年度) 取組内容</p>	<p>心の教育相談員を活用した不登校支援教室、スクールカウンセラーの全校に配置によるカウンセリング、訪問相談員による家庭訪問など、教育相談体制、支援体制を構築しています。</p> <p>【経過・結果】 小中学校において関係機関と連携を図る機会を作っています。毎学期の長欠対策会議や必要に応じてケース会議を開き、児童生徒や保護者への対応について協議しています。</p> <p>また毎月、長欠だより「Assist-アシスト-」を発行し、長欠児童生徒の現状や課題の情報共有、長欠児童生徒への対応等の情報発信を行いました。</p> <p>なお、小中学校では、毎学期、教育相談アンケートを実施し、それを基に教育相談週間で個々の面談を行い、問題の未然防止に努めました。各校とも、相談箱の設置や相談窓口の掲示をしたり、学校便りでスクールカウンセラーの訪問日を周知したりし、問題の早期発見に努めています。必要に応じて関係機関と連携できるよう支援しました。</p> <p>【今後の方向性】 心の相談員やスクールカウンセラー、訪問相談員等を効果的に活用することで、児童生徒が安心して登校できる環境を作ります。また、家庭環境などにより複合的な支援が必要な場合などは、関係機関と連携した対応を図ります。加えて、不登校児童生徒の各校の状況を把握し、指導・助言を継続していきます。</p>		
指標名	アンケートの実施回数		
実績値	各校 2 回		
目標値	3 回		
自己評価	B		

評価結果	長期欠席の児童・生徒への対応や課題などの情報共有がされている。また、アンケートの実施による問題の未然防止や、スクールカウンセラー等の活用により、相談しやすい体制を構築していることなど評価できる。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 教職員に対する研修の充実

事業名	教職員の研修の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>教職員の資質向上、指導力の向上をめざし、教育研究活動や研修内容の充実を図ります。</p> <p>【経過・結果】 教職員のモラールアップや不祥事根絶について、校長会議の議題に毎回取り上げ、年間を通して協議しました。 また、各学校の授業研究に指導主事を派遣し指導しました。</p> <p>県総合教育センターの出前授業を活用し、若年職員の研修を実施しました。学級経営と学習指導について参加体験型の研修を行い、教員としての資質・能力の向上に努めました。</p> <p>【今後の方向性】 教職員の経験年数に応じた研修受講など積極的に推進し指導力向上を目指します。また不祥事根絶研修などにより教職員の資質向上、組織全体としての意識づくりに努めていきます。</p>		
指標名	町教育研究会 研修回数		
実績値	3回		
目標値	2回		
自己評価	B		
評価結果	若年教職員の資質・能力向上のための研修実施など、目標値を上回る実施をしており、その取り組みを評価する。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 学校施設の適正な維持

事業名	学校施設の適正な維持	担当係	学校教育係
<p>評価年度 (R4 年度) 取組内容</p>	<p>学校施設の安全点検と補修修繕など、老朽化対策に取り組みます。また、児童生徒の安全性の確保及び地域の防災拠点としての強化を図るため、学校施設の改善、補修を実施します。</p> <p>【経過・結果】 学校施設整備の現状と課題を整理し、学校の老朽化対策など、安心して利用できる学校施設を将来にわたり持続的に提供していくため、事業費の効率的な執行と平準化並びに長期利用を図ることを目的に「九十九里町学校施設長寿命化計画」を策定しました。</p> <p>(片貝小学校) ・トイレ改修工事 ・外構フェンス修繕 他</p> <p>(豊海小学校) ・フローリング張替修繕 ・体育館引戸修理 他</p> <p>(九十九里小学校) ・エレベーター改修工事 ・プールコート修繕 他</p> <p>(九十九里中学校) ・防火シャッター改修工事 ・門扉改修工事 他</p> <p>【今後の方向性】 学校施設は、児童・生徒の学習や生活の場として重要な役割を担うほか、災害時の防災拠点（避難所等）の役割も担うため、施設等に不具合が発生しないよう、「九十九里町学校施設長寿命化計画」に基づき計画的な維持管理を実施し、安全・安心な施設環境の整備を図ります。</p>		

指標名	-
実績値	-
目標値	-
自己評価	B
評価結果	施設整備に対する事業量の平準化や、児童・生徒の安全確保のため長寿命化などの整備に努めていることを評価したい。地域的に塩害による劣化も懸念されることから今後は遊具等についても、修繕や撤去も含めた管理を希望する。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校のあり方についての検討	担当係	学校教育係
<p>評価年度 (R4 年度) 取組内容</p>	<p>九十九里町学校再編推進委員会において、学校規模の適正化及び学校再編に関する調査研究を行います。</p> <p>【経過・結果】                      令和4年 10月 18日臨時教育委員会会議                      九十九里町学校規模適正化基本方針【説明】                      九十九里町学校施設長寿命化計画【説明】                      令和4年 11月 1日教育委員会会議                      九十九里町学校規模適正化基本方針【可決】                      九十九里町学校施設長寿命化計画【可決】                      令和4年 11月 26日公共施設等マネジメント推進本部会議                      九十九里町学校施設長寿命化計画【承認】                      令和5年2月21日                      九十九里町総合教育会議【協議】                      令和5年3月1日教育委員会会議                      九十九里町学校再編推進委員会設置要綱【可決】</p> <p>【今後の方向性】                      学校再編実施に向けた協議を学校再編推進委員会で行います。                      学校再編推進委員会での協議検討結果については、教育委員会会議において報告します。</p>		
指標名	学校再編推進委員会会議回数		
実績値	0回		
目標値	5回		
自己評価	B		
評価結果	<p>学校規模適正化基本方針に基づき学校再編推進委員会が設置された。学校再編推進委員会において、小学校の再編がスムーズに進行することを期待したい。</p>		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 地域に開かれた学校づくり

事業名	地域とともにある学校を実現する	担当係	学校教育係
評価年度 (R4 年度) 取組内容	<p>学校評価アンケートから地域や保護者の意見を吸い上げ、学校関係者評価委員会での意見等を参考にしながら、適正な学校運営がなされるように指導、助言していきます。</p> <p>【経過・結果】 学校だより等のHPへの掲載など、地域や保護者へ積極的に情報発信を行いました。 また、学校運営協議会の発足に向け、規則の制定など必要な準備を進めることができました。</p> <p>【今後の方向性】 令和5年度に豊海小学校で学校運営協議会を開催する方向です。他の小中学校についても引き続き児童生徒、保護者、地域の方々の声に耳を傾け、学校運営や日常の教育実践等への反映に努めます。</p>		
指標名	学校評価アンケートの実施回数		
実績値	各校2回		
目標値	各校1回		
自己評価	B		
評価結果	学校評価アンケートによる意見の吸い上げや、学校だよりの地域回覧など、地域と学校の結びつきを図る取り組みが行われていることを評価する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 家庭教育の推進

事業名	家庭教育推進事業	担当係	社会教育係																																				
<p>評価年度 (R4年度)</p> <p>取組内容</p>	<p>家庭教育学級をはじめ、児童・保護者のニーズにあった家庭教育学事業を支援します。</p> <p>町内こども園、小学校及び中学校において、家庭や地域の教育力の向上を図ることを目的として開催する家庭教育学級への支援を実施します。</p> <p>【経過・結果】</p> <p>子どもと保護者が共に学ぶ機会を提供するため、こども園及び小学校にて規模を縮小しながらも家庭教育学級を開催しました。</p> <p>但し、町開催の全体会や中学校などは新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。</p> <p>家庭教育の向上のため、各家庭に対し情報提供を実施するとともに、各種研修等への参加を呼びかけました。</p> <p>《実績》</p> <table border="0"> <tr> <td>全体会</td> <td>中止</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とようみこども園</td> <td>6回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>かたかいこども園</td> <td>4回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>豊海小学校</td> <td>2回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>片貝小学校</td> <td>1回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>九十九里小学校</td> <td>中止</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>九十九里中学校</td> <td>中止</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者 延べ保護者</td> <td>591人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>園児・児童</td> <td>668人</td> <td>合計</td> <td>1,259人</td> </tr> </table> <p>内容 音楽鑑賞・親子運動・交通安全教室 講演会 ほか</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>家庭教育学級とは、家庭が本来果たすべき役割を見つめなおす機会になるよう、保護者自身が親の役割、子どもの</p>			全体会	中止			とようみこども園	6回			かたかいこども園	4回			豊海小学校	2回			片貝小学校	1回			九十九里小学校	中止			九十九里中学校	中止			参加者 延べ保護者	591人			園児・児童	668人	合計	1,259人
全体会	中止																																						
とようみこども園	6回																																						
かたかいこども園	4回																																						
豊海小学校	2回																																						
片貝小学校	1回																																						
九十九里小学校	中止																																						
九十九里中学校	中止																																						
参加者 延べ保護者	591人																																						
園児・児童	668人	合計	1,259人																																				

	心の理解など、家庭における教育について考え、深めていく学習の場であり、今後も実施します。
指標名	家庭教育学級開催数
実績値	13回
目標値	30回
自己評価	C
評価結果	コロナ禍であったものの実施できたこども園や学校があったことは評価できる。今後、再開され有意義な事業になることを期待する。
評価	C

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	子ども会活動の充実	担当係	社会教育係										
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>各団体と連携協力し、活動の充実を図るとともに、地域の子どもたちの縦と横のつながりを深めます。</p> <p>育成者へ講習会や研修会への積極的な参加を促し、指導者としての資質向上を図ります。</p> <p>【経過・結果】</p> <p>子ども会活動の活性化を図るため、新型コロナウイルス感染症対策を取りつつ開催しました。</p> <p>例年、中学生以上のジュニアリーダーとの連携を強化しており、地域の子ども達とのつながりの強化のため、指導者育成研修への参加を支援いたしました。</p> <p>《実績》</p> <table border="0"> <tr> <td>お寺で遊ぼう（虫送り）</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>見学ツアー（千葉工業大学）</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>子どもかるた大会</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ大会</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>ミニバスケットボール大会</td> <td>中止</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>町内における子どもの数が激減しており、活動を維持できない単位子ども会が急増しています。</p> <p>今後、会の活動を維持していくためにも、地域全体で活動意欲を活性化できるような事業を計画・推進します。</p> <p>また、休止・解散した単位子ども会に所属していた児童についても引き続き参加できるよう連絡体制の強化を図ります。</p>			お寺で遊ぼう（虫送り）	21名	見学ツアー（千葉工業大学）	14名	子どもかるた大会	21名	ボッチャ大会	13名	ミニバスケットボール大会	中止
お寺で遊ぼう（虫送り）	21名												
見学ツアー（千葉工業大学）	14名												
子どもかるた大会	21名												
ボッチャ大会	13名												
ミニバスケットボール大会	中止												
指標名	子ども会数の減少抑止												
実績値	14団体												
目標値	15団体												
自己評価	C												
評価結果	<p>少子化が著しく進展する中で、子ども会の減少抑制は難しい課題であると思われる。子ども会に属さない子どもた</p>												

	ちに対する健全育成活動の推進を希望する。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	青少年活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>青少年相談員連絡協議会交付金。 活動：夜間パトロール、カーブミラー清掃、相談員ツアー。</p> <p>【経過・結果】 青少年の健全な育成のため、見回り活動や体験活動を通じ、青少年を地域全体で見守る活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間パトロール 6名</li> <li>・有害図書調査 6名</li> <li>・カーブミラー清掃 延べ14名：306箇所 1回目：片貝・九十九里地区、2回目：豊海地区</li> <li>・青少年相談員ツアー (きぼーる・県立中央博物館) 17名</li> </ul> <p>【今後の方向性】 青少年の健全な心身の育成のため、活動を実施するとともに見守り体制を強化します。 また、効果的な事業の企画・立案をし、地域での活動の活性化を図るため、関係者との協議を推進します。</p>		
指標名	青少年相談員活動の実施回数		
実績値	5回		
目標値	5回		
自己評価	B		
評価結果	見守り活動や体験活動など、青少年のため様々な活動に尽力しており評価する。活動の継続を願う。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	ジュニアリーダースクラブ 活動の充実	担当係	社会教育係
<p>評価年度 (R4年度) 取組内容</p>	<p>各種行事の企画運営や研修会へ参加し、自己能力の向上を図るとともに人材の発掘を図ります。 資格取得を促し、九十九里町だけでなく千葉県で活躍するリーダーの育成に努めます。</p> <p>【経過・結果】 地域の児童生徒のリーダー育成のため、各種行事の企画運営や研修会への参加を行っているとともに、町子ども会行事の準備等についても協力を行っています。 また、新規の加入者確保のためのチラシ作成など推進活動を積極的に実施できた。 中学生：11名、高校生：20名 内、新規加入者数 3名 初級研修 2回開催（延べ参加数：25名） 中級研修 1回開催（延べ参加数：4名） 上級研修 （中止）</p> <p>【今後の方向性】 コロナ禍においての活動が減少している影響もあり、周知不足が否めないため、様々な手法の啓発を協議していく。 また、今後は各種事業が開催されていくため、事業に積極的に参加・活動し、新規加入の推進を図ります。 なお、コロナ禍において新規に実施した活動報告やパンフレットの作成については継続的に実施し事業啓発の推進に努めます。</p>		
指標名	ジュニアリーダースクラブ活動参加者の増加		
実績値	3名		
目標値	5名		
自己評価	B		

評価結果	研修会への参加や行事の企画運営など、ジュニアリーダーの長年の活動に敬意を表したい。また子供が減少する中、ジュニアリーダーへの新規加入者がいることは非常に喜ばしい。引き続きの活動を期待する。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	通学合宿の実施	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>九十九里町通学合宿の開催。</p> <p>【経過・結果】 異なる学校・世代の児童が共同生活をする中での体験活動を通して、自主性・社会性や協調性等を身に着けることが期待されている。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。</p> <p>【今後の方向性】 子どもたちの自主性・社会性や協調性を養うことと、地域全体で子どもを育てる意識の高揚を図るため、引き続き実施します。</p>		
指標名	自主性・社会性・協調性の向上		
実績値	-		
目標値	100%		
自己評価	C		
評価結果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったことは残念である。この事業が、子どもたちの自主性や社会性、協調性を身に着ける貴重な経験の場となるよう、次年度に期待したい。</p>		
評価	C		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進体制の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>生涯学習推進協議会の組織・運営。 生涯学習推進大会の開催。</p> <p>【経過・結果】 町民の学習機会の充実を推進するため、生涯学習推進大会を企画したが新型コロナウイルス感染症の影響により通常開催は中止となりました。 その後の協議の結果、中学校を会場とし、対象者を生徒のみに限定して講演会を開催いたしました。 また、講演会の様子を映像化し、3小学校で放映することで、町内の児童も見る事ができるよう調整を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進協議会 中止</li> <li>・生涯学習推進大会 中学校にて講演会を開催 対象者：中学1年生～3年生 小学1年生～6年生（視聴のみ）</li> </ul> <p>【今後の方向性】 学習機会の充実化のため、生涯学習推進大会を開催し学習意欲の醸造を図るとともに、団体による活動発表の場を提供し、地域団体活動の活性化を図ります。</p>		
指標名	事例発表団体数		
実績値	0 団体		
目標値	4 団体		
自己評価	B		
評価結果	新型コロナウイルス感染症の影響により従来の形態での開催が出来なかったが、協議を踏まえ、小中学生を対象に実施できたことは評価する。今後の開催を期待する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 郷土芸能の保存・継承

事業名	郷土芸能の保存・継承	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>3年に1度郷土芸能まつりを開催し、映像化した媒体を広報用に活用するとともに、各地区の郷土芸能団体と協力し、小中学生に学ぶ機会をつくり、郷土芸能の保存・継承を図ります。</p> <p>【経過・結果】 郷土芸能まつりを開催し、各地区の郷土芸能団体の活性化を図ろうとしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 デジタルデータとして作り直した過去のまつり映像を、中央公民館ロビーにて放映し地域の郷土芸能活動の発信を行いました。</p> <p>【今後の方向性】 地域の郷土芸能の保存・継承のため、3年に1度の郷土芸能まつりを継続していきます。併せて、各施設において映像を活用した事業発信を行い、郷土芸能活動への推進を図ります。</p>		
指標名	活動団体数		
実績値	9団体		
目標値	9団体		
自己評価	B		
評価結果	<p>コロナ禍により様々な事業の中止を余儀なくされた中、デジタルデータでの発信を行ったことは評価できる。郷土芸能の伝承・保存のため、次回開催を望む。</p>		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 文化財の保存・活用

事業名	文化財の保存・活用	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>伊能忠敬記念公園・文化財関係維持管理。</p> <p>【経過・結果】 伊能忠敬記念公園については、地元自治区の協力と職員による週1回の清掃作業を行っており適正な管理体制が構築されています。 また、より適切に利用できるよう施設の修繕を計画しました。</p> <p>【今後の方向性】 文化財維持管理と地域住民の憩いの場として活用していくため、引き続き地元自治区と協力し、伊能忠敬記念公園の適正な管理に努めます。</p>		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	A		
評価結果	地元自治区と協力して施設の維持管理がなされており評価できる。この協力体制が継続することを望む。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	学校体育施設の開放	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>町内3小1中の学校体育施設を開放し、運動に親しむ環境を提供します。</p> <p>活動団体の活動環境の改善を推進し、登録団体数の確保に努めます。</p> <p>【経過・結果】</p> <p>運動に親しむことのできる環境を作るため、学校体育施設の開放を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自体を休止している団体がありますが、下半期にかけて徐々に活動の再開・推進が図れております。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>町民の健康保持のため、施設利用促進を図ります。</p>		
指標名	学校体育施設登録団体数		
実績値	39 団体		
目標値	41 団体		
自己評価	B		
評価結果	<p>コロナ禍であったが、感染症対策との両立を図りながら事業実施できた。町民の健康保持のため引き続き取り組んでほしい。</p>		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	団体及び指導者の育成・強化	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>スポーツ教室の開催（卓球）。</p> <p>【経過・結果】 各種スポーツへ講師を迎えスポーツ教室を開催し、競技人口の増加及び指導者の育成を図り、総合的な各種スポーツの活性化を図ることを目的とし計画しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。</p> <p>【今後の方向性】 各種スポーツの活性化を図るため、年1回のスポーツ教室を開催します。</p>		
指標名	スポーツ教室開催回数		
実績値	0回		
目標値	1回		
自己評価	C		
評価結果	新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったことは残念であるが、様々なスポーツ強化の力になるよう、今後の開催に期待したい。		
評価	C		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	社会体育活動事業の実施	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>町民体育祭、山武郡市民体育大会、スポーツ・レクリエーション祭、山武郡市民駅伝競走大会等各種スポーツ大会の開催。</p> <p>【経過・結果】 レクリエーションやスポーツ大会を行うことにより、子どもから大人まで広く町民の皆様が運動に親しむ機会を設けています。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった大会がありますが、下半期にかけ対策を取り大会を開催いたしました。</p> <p>山武郡市民体育大会 (中止) 町民体育祭 (中止) 町スポーツ・レクリエーション祭 (中止) 山武郡市民駅伝競走大会 総合5位(個人賞2名) その他各種成人大会</p> <p>【成人大会企画 専門部・協会】 (中止) 野球(春)、ソフトボール、ゴルフ(春)、バレーボール(春)、バスケットボール (開催) 野球(秋) 5チーム、ゴルフ(秋) 76名 バレーボール(秋) 4チーム</p> <p>【今後の方向性】 町民の健康保持のため、スポーツ・レクリエーション活動の振興や普及に努めるとともに、実践の場として各種スポーツ大会等を開催します。 各成人大会を自主運営できるよう、各専門部・協会を支援します。</p>		
指標名	社会体育事業参加者数		
実績値	280名		
目標値	1,350名		
自己評価	B		

評価結果	コロナ禍という困難な状況でありながら、いくつかの大会が実施できたことは評価できる。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	スポーツ協会加盟団体の活動支援	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>九十九里町スポーツ協会補助金。</p> <p>【経過・結果】 町におけるスポーツ活動の中心である、スポーツ協会へ補助金を交付し、各種スポーツ団体主催による大会や研修、講習会開催時の支援を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響により各種事業の開催が困難なため、次年度に向けての事業協議を行い、各種事業実施の見直しをすることができました。</p> <p>【今後の方向性】 各種スポーツ団体の育成・強化に努め、各種大会の自主運営、指導者の育成、資質向上を図ります。</p>		
指標名	スポーツ協会加盟団体数		
実績値	19 団体		
目標値	19 団体		
自己評価	B		
評価結果	各種スポーツの団体の育成・強化のため、支援の継続を望む。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ施設の維持・改修

事業名	野球場の利用促進	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>スポーツの場として有効活用できるように促進するとともに、適切な維持管理をします。                      スポーツトラクターの整備。                      施設大規模改修（ラバーフェンス設置）。</p> <p>【経過・結果】                      野球場施設の安全性向上及び適正管理のため、各種整備工事を実施しました。                      野球場グラウンド側コンクリートフェンスにラバーフェンスを設置し接触による事故防止ができるよう改善を図りました。                      なお、実績値減少の原因としては、フェンス工事の影響により1月10日から3月31日まで閉鎖したことが原因であり、利用状況としては向上してきております。</p> <p>【今後の方向性】                      施設を適正且つ安全に利用できるよう、定期の整備工事を実施していきます。</p>		
指標名	野球場年間累計利用団体数		
実績値	86団体		
目標値	170団体		
自己評価	A		
評価結果	適正な修繕を実施し、安全に利用できる施設として多くの人に親しまれ、利用者増につながることを期待する。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 海辺のスポーツ環境づくり

事業名	海岸スポーツ推進	担当係	社会教育係
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>サーフィンスクールの開催。</p> <p>【経過・結果】 海岸における活動推進と、子ども達が自然に触れあいながら学ぶ場を提供するため、日本サーフィン連盟の協力のもと、サーフィンスクールを開催しました。 また、協会との協議を実施し、ビーチクリーン作業や、心肺蘇生法の講習などを取り入れ、海難時の対処など知識の向上に努めました。 第1回（片貝中央海岸）：35名 第2回（片貝中央海岸）：31名</p> <p>【今後の方向性】 参加者の健康・安全に留意しつつ、今後も企画・開催していきます。 また、日本サーフィン連盟と協力体制を拡充し、海岸における活動推進を図ります。</p>		
指標名	海岸を活用したスポーツ事業の実施		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	A		
評価結果	海岸を活用したスポーツの推進として、サーフィンスクールが定着してきたことを評価したい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進事業	担当係	中央公民館
<p>評価年度 (R4年度) 取組内容</p>	<p>地域の実情や課題に応じた各種講座を開催し、より多くの町民が参加でき、余暇の活動や生涯学習の推進のため幅広い学習機会の場を提供しました。また、講座終了後は、自主的に継続して活動できるように運営支援に努め同好会への移行を図りました。</p> <p>生涯学習を目的とした各種講座を企画開催し、広報やHPにより広く住民に周知する。住民の余暇の活用及び生涯学習の推進による学びやふれあいの場を提供します。</p> <p>【経過・結果】 (公民館活動)</p> <p>生涯学習推進の場として、公民館を開放し学習機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 町主催講座受講者数           <ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトボールヨガ講座（10回開催）受講者16人</li> <li>絵手紙教室講座（10回開催）受講者14人</li> <li>実用書道教室講座（10回開催）受講者16人</li> <li>健康ヨガ教室講座（10回開催）受講者25人</li> </ul> </li> <li>※町主催講座から自主同好会へ移行依頼しましたが、講師の方が高齢を理由に辞退されました。</li> <li>(実用書道教室)</li> <li>• 公民館利用状況           <ul style="list-style-type: none"> <li>各教室・同好会 10,919人</li> <li>569回</li> </ul> </li> <li>(図書室)</li> <li>• 開室日数 292日、入室者数 2,641人、貸出者数1,884人、蔵書冊数21,557冊、貸出冊数5,099冊、1日平均貸出し冊数17冊</li> </ul>		

	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な学習ニーズに対応できる学習内容や学習情報を提供するとともに、学習活動の充実を図ります。</li> </ul> <p>また、町主催講座修了後、自主的に継続して活動できるように運営支援に努め同好会への移行を図ります。</p>
指標名	講座受講者の参加人数
現状値	71人
目標値	70人
自己評価	C
評価結果	生涯学習の推進が継続的になされていること、また講座受講者数が目標値を達成していることなど、総合的に評価できる。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>文化団体連絡協議会（参加団体）への支援</p> <p>【経過・結果】 各団体の活動内容や会員募集のため、会報を作成し、全世帯に配布しています。 （文化団体連絡協議会参加団体数） 25団体 令和4年中の退会団体（退会理由） ・藤浪会（他地域で活動のため）</p> <p>【今後の方向性】 文化事業の推進母体としてのより一層の強化を図ります。また、一般住民の参加を広報やHPを使い募集を呼びかけ、文化活動の充実を図ります。</p>		
指標名	文化活動団体への支援		
現状値	25団体		
目標値	27団体		
自己評価	C		
評価結果	人口減少などの影響もうかがえるが、広報やホームページなどを活用し、多くの方に周知し活動が充実することを期待する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習環境の整備

事業名	生涯学習施設整備事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>施設に不具合があった際に保全を行う「事後保全」型の管理から、計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」型の管理へと転換を目指します。また、劣化・損傷が軽微な早期段階で把握し修繕を行うことで、劣化・損傷の進行を事前に防止し、修繕にかかる費用を縮減します。</p> <p>【経過・結果】</p> <p>主な修繕箇所            放送用設備（アンプ）修繕            浄化槽エアリフト用配管修繕            浄化槽ブロワー（NO. 1）交換修繕</p> <p>主な工事箇所            ロビー天井防水工事            空調機改修工事</p> <p>委託費            空調機改修工事監理業務委託</p> <p>【今後の方向性】            不具合の早期発見に努め、修繕にかかる費用を縮減するとともに適切な維持・管理による長寿命化を図ります。</p>		
指標名	-		
現状値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	中央公民館の主要な箇所の改修が実施された。予防保全は良い取り組みであるので、今後も継続し施設整備に努めてほしい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 芸術文化活動の推進

事業名	芸術文化活動推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R4年度) 取組内容	<p>公民館等で実施をされている各種講座・同好会が連携を図り、文化祭等各種事業実施の際の円滑化を図るとともに、町民文化事業のための推進母体としてのより一層の強化を図ります。また、一般住民の参加を呼びかけ、文化活動の充実を図ります。</p> <p>【経過・結果】 参加団体数 25 団体</p> <p>町民文化祭 芸能発表（10 月下旬）、作品展示発表（11 月上旬）を行うため、準備を進め予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止及び中央公民館空調機改修工事中により入館者の安全確保が困難なため中止としました。</p> <p>【今後の方向性】 ・今後も文化祭を開催し、学習の成果を発表する場を提供する。（作品展示発表及び芸能発表）</p>		
指標名	町民文化祭参加団体数		
現状値	中止		
目標値	31 団体		
自己評価	C		
評価結果	中央公民館の改修時期であったため、町民文化祭が開催できなかったことは残念である。発表の場があると、文化芸術活動がより活性化すると思われる。今後に期待する。		
評価	C		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校給食事業のあり方の検討	担当係	学校給食係
<p>評価年度 (R4年度) 取組内容</p>	<p>児童生徒の減少に対応した給食事業のあり方を検討します。</p> <p>学校給食センター運営委員会を軸として、意見交換を行い、給食事業及び施設の方向性を検討します。</p> <p>【経過・結果】</p> <p>学校給食に対する理解を深めるとともに、子どもの「食育」を推進するため、教育委員による試食会を行いました。</p> <p>また、学校給食センター運営委員会を2回開催し、第1回目は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催となりましたが、第2回目は通常開催することが出来ました。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>児童、生徒にとってより良い給食事業及び施設のあり方を、学校給食センター運営委員会を軸として、意見交換を行い検討します。</p>		
指標名	学校給食センター運営委員会会議回数		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	B		
評価結果	<p>コロナ禍により、年2回開催する運営委員会のうち1回が書面開催となったが、この運営委員会を軸として、今後も児童・生徒にとってより良い給食事業であることを期待する。</p>		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	安全・安心な学校給食の提供	担当係	学校給食係
<p>評価年度 (R4年度) 取組内容</p>	<p>安全安心な学校給食を提供します。                      日常点検・定期点検による機器の故障等の事故防止と迅速な修繕を行うとともに計画的な調理機器等の入替えを行います。  <b>【経過・結果】</b>                      給食業務（調理・配送）委託事業を平成19年度から実施しており、委託業者、栄養士（栄養教諭）、町職員との連携はもちろんのこと、学校の要望や保護者負担の軽減を図る配食日数とすることなど、より安全安心な給食の提供に努めました。                      また、給食提供に影響する緊急性の高い施設や調理機器等の修繕及び、衛生管理上不適合、不具合な設備等の修繕を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配食日数 年間192日</li> <li>・配食数 日平均812食</li> <li>・修繕 9件</li> </ul> <p>（蒸気ボイラー、排水処理施設、調理場内漏水、スチームコンベクションオープン 他）</p> <b>【今後の方向性】</b> 給食の安全を確保するため、食材の品質や衛生管理体制の徹底を図り、学校給食センター施設および調理機器等の日常点検や保守点検により判明した不具合や耐用年数を超える調理機器等の修繕を計画的に行い、児童生徒に安全安心な給食の提供に努めます。		
指標名	事故による給食停止日数		
実績値	0日		
目標値	0日		
自己評価	B		
評価結果	給食停止日なく給食を提供できたことは、目標値を達成しており評価できる。今後も栄養面を考慮した、安全安心		

	で児童・生徒に愛される給食の提供を願う。
評価	A

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校給食費補助事業（学校給食費無償化）	担当係	学校給食係
<p>評価年度 (R4年度) 取組内容</p>	<p>多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、第3子以降の義務教育期間における町立小・中学校の児童・生徒の学校給食費を無償化しました。</p> <p>【経過・結果】 令和4年度12月から学校給食費補助事業として、学校給食費無償化が開始され、令和4年12月28日までに申請があった該当者に対し、令和5年1月から3月分の給食費を無償としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間 令和5年1月～3月</li> <li>・該当者 87名（77世帯）</li> <li>・減免額 1,090,365円</li> </ul> <p>【今後の方向性】 多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、第3子以降の学校給食費の無償化を、令和5年度も引き続き行うことといたしました。 令和5年度は随時受付となり、該当者に係る給食費を申請月の翌月分から無償とすることが可能になります。</p>		
指標名	—		
実績値	—		
目標値	—		
自己評価	B		
評価結果	子育て事業の一つとして、第3子以降の給食費無償化は評価できる。今後、完全無償化が実現することを期待する。		
評価	B		